

戦略プログラム項目一覧 進捗管理表（R4年度末時点）

基本方針	施策	戦略プログラム項目	LP	主担当	整理番号	取組年次計画				令和4年度末の進行評価	成果や課題
						取組内容		2020(R2)	2021(R3)		
1 安全・安心な運行体制の確保	(1) 安全対策の徹底										
	職員研修の充実	○	管理班	1-1-1	安全管理研修	コロナの影響により資料配布のみ	実施	⇒	○	・安全管理研修では、運輸、車両、土木・電気系合同で「事故の再発防止、予防に向けて」の学習を行った。 ・年末年始安全総点検研修では、地震による脱線事故を想定し、運転・施設・車両の各部門が連携して的確な行動がとれるかを点検・確認した。 ・9月に鹿児島市交通局を視察し、アルナ製車両の運用状況などを確認した。また10月には長崎電気軌道を視察し乗務員間の情報共有端末についての運用方法などを学び導入に向けて検討を行った。	
					年末年始安全総点検研修	実施	実施	⇒			
					先進他事業者ノウハウ導入	－	調査	実施			
	運転技能の向上	○	管理班	1-1-2	フォローアップ研修(2年目の運転士)	－	新規実施	⇒	○	・フォローアップ2年前期(8/24-2名)、フォローアップ2年後期(11/28-2名)を実施した。 ・運転実施の評価を行う運転実務検定については全運転士を対象に実施した。 ・運転法規研修講座を9月7日から9日の3日間で受講した。	
					運転実務検定	実施	⇒	⇒			
					運転指導講習会受講	コロナの影響により見合わせる	実施	⇒			
	運輸安全マネジメントの推進		管理班	1-1-3	交通安全推進委員会開催	毎月開催	⇒	⇒	○	・毎月委員会を開催し、事故発生状況の情報共有を図り、事故防止策等について立案、実施、見直しを行った。 ・内部監査やマネジメントレビューによる実施検証、見直しを行うなど、PDCAサイクルを実践した。	
					運輸安全マネジメント内部監査	毎年開催	⇒	⇒			
	安全意識の醸成		管理班	1-1-4	ヒヤリ・ハット情報収集箱の設置・掲示	実施	⇒	⇒	○	・ヒヤリ・ハット情報収集箱を設置し、情報収集を行った。 ・営業所職員を班ごとに管理し、LINEを活用したヒヤリ・ハット情報の収集を行った。 ・事故0の日安全講話については、10月12日に午前、午後の2回実施した。	
					(投稿がない場合)アンケート調査による事例の抽出	－	実施	⇒			
					事故0の日安全講話	実施	⇒	⇒			
	(2) 災害対策等の強化										
	災害時に対応できるダイヤ作成	○	管理班	1-2-1	ダイヤ作成	－	3ダイヤ	継続的見直し	○	・昨年度作成した、災害時ダイヤのほか、乗務員の確保が困難な場合にも対応できるよう20%・30%・50%の削減ダイヤの継続的見直しを行った。	
	災害時の業務体制強化		総務経理班	1-2-2	「熊本市交通局防災計画(仮称)」等の整備・各種マニュアルの点検	－	整備	(随時)見直し	○	・乗務員を対象としたバリアフリー研修や、車両工場等の職員による脱線復旧訓練を実施した。 ・交通安全推進委員会にて、熊本市ハザードマップを使用した水害発災時の被害区域や時間雨量を確認。今後、車両避難に向けた課題等を検討する。	
					各種防災訓練	実施	⇒	⇒			
					車両避難シミュレーション	－	実施	⇒			
	テレワークの推進		総務経理班	1-2-3	モバイルPC等の導入	－	実施	⇒	○	・コロナ禍によるテレワーク等の推進を図った。	
					テレワーク実施日の導入	－	検討	実施			

基本方針	施策	戦略プログラム項目	LP	主担当	整理番号	取組年次計画				令和４年度末 の進行評価	成果や課題
						取組内容	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)		
	(3) 安全輸送を支える基盤設備の強化										
		軌条更換		施設班	1-3-1	軌条更換	・競輪場通り交差点～水前寺終点	・大甲橋左岸～九品寺交差点 ・動植物園入口電停付近 ・交通局前渡線	水前寺公園～商業高校前	△	・令和3年度実施予定分を令和4年度に繰り越したため、令和4年度当初予定のもの(水前寺公園～商業高校前)は未実施。ただし、繰り越したもの(大甲橋左岸～九品寺交差点、交通局前渡線)については令和4年度内に完成した。
		電柱建替		施設班	1-3-2	電柱建替え	—	—	2本 (河原町曲線)	○	・令和3年度1本前倒しで実施したため、令和4年度は1本実施した。
		車両の延命化対策（旧型車両：1200形・1350形）	上熊本車両工場	1-3-3	交流冷房機への更新	—	実施	1201号車 1205号車	○	・対象車両を1205と1207号へ変更し、交流冷房機への更新、車体内外部の補修及び窓枠等の取替、照明等のLED化を実施した。 ・令和5年度に実施する交流冷房機への更新(対象:1201、1356号)へ向けた契約を行った。	
					車体内外部の補修及び窓枠等の取替	—	検討	1201号車 1205号車			
					照明等のLED化	—	検討	1201号車 1205号車			
		車両の長寿命化対策	上熊本車両工場	1-3-4	VVVFインバータ制御装置更新	—	検討	8802号車	△	・8802号を対象にVVVFインバータ制御装置の予防保全業務を行った。 ・8800型の空調制御装置や空調装置更新は見送り、令和4年度に実施予定だった8503号の空調装置等の更新については、装置の納品遅れの影響で令和5年度に実施予定。	
					空調装置更新	—	実施	8802号車 8503号車			
					空調制御装置更新	—	実施	8802号車 8503号車			
		事故防止対策	施設班	1-3-5	軌道敷カラー舗装・路面標示	—	3箇所	3箇所	○	・営業所と必要箇所を精査し2箇所路面標示を実施した。 ・ポールコーンについては、杉塘電停に設置した。 ・運行管理カメラについては、辛島町電停に設置した。	
					弾性ポールコーン設置	2箇所	1箇所	1箇所			
					運行管理カメラの設置	2電停	—	2電停			

基本方針	施策	戦略プログラム項目	LP	主担当	整理番号	取組年次計画				令和４年度末 の進行評価	成果や課題	
						取組内容	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)			
2 質の高いサービスの提供	(1)	輸送需要等への的確な対応										
		計画的な車両更新	○	上熊本車両工場	2-1-1	超低床電車購入	—	—	—	○	・令和6年度の多両編成車両導入に向けた車両設計を行った。 ・令和5年度の廃車に向けた手法の検討を行った。	
						旧型車の廃車	—	2編成 (4両)	—			
		運行ダイヤの見直し	○	管理班	2-1-2	ダイヤ改正	日祝ダイヤ	コロナ対応 土日祝ダイヤ として見直し	平日ダイヤ	○	・令和4年4月11日よりダイヤ改正(平日のみ)を行った。朝タラッシュの時間帯でお客様が増えていることから運行本数を増便。 ・急行運行の代替案として実施している折り返し便を有効利用し、1車両あたりの混雑率の解消を図った。	
						急行運行	検討	⇒	社会実験			
		多両編成車両に対応した施設改修	○	施設班	2-1-3	電停改修	—	測量設計 ①	改修工事① 測量設計②	○	・改修工事を2ヶ年で予定していたが、1カ年で施工可能と判明したため、令和4年度は改修に向けた調整等を行った。 ・令和5年度の車両工場の改修に向けた設計を行った。	
						車両工場の改修	—	検討	設計			
		(2) 誰もが快適に利用できる環境整備										
			デジタルサイネージの導入	○	管理班	2-2-1	デジタルサイネージ設置	1電停	8電停	効果検証 拡充検討	○	予定していた8電停(健軍町、動植物園入口、水前寺公園、新水前寺駅前、九品寺交差点、通町筋、辛島町、上熊本)に導入完了した。
			運賃収受のキャッシュレス化	○	営業推進班	2-2-2	新たな運賃収受方法の導入	実施検討	QRコード決 済導入	新たな方法 検討	○	令和2年度、モバイル市電1日乗車券導入済 令和3年度、モバイル定期券導入済 令和4年度、タッチ決済の実証実験を実施、モバイルでのわくわく1dayパスの取り扱い開始
	1日乗車券のモバイル化						スマホアプリ 導入	新たな運用 検討	⇒			
	インターネットを活用した情報発信		○	経営企画班	2-2-3	ホームページの改修	—	—	利用者把握	○	フォロワー数は、令和3年度末時点で4,800人程度だったものが、令和5年10月現在で7,000人を超えており、積極的な情報発信により、市電への関心や愛着の高まりにつながった。 HPIについては利用者(閲覧者)数の把握を行っているほか、情報管理の機能強化を行った。	
						ツイッター広報	実施	⇒	⇒			
	電停のバリアフリー化			施設班	2-2-4	電停改良に伴う電線張替え	動植物園	辛島町	商業高校前	△	・R4年に予定していた商業高校前の架線工事・軌道移設電停改良工事については関係機関との協議に時間を要したため、令和5年度へ繰越	
						軌道移設・電停改良	辛島町 動植物園入口 通町筋	⇒ ⇒	—			
	定期券の利便性向上		営業推進班	2-2-5	スマートフォンを活用した定期券の導入	実施検討	導入	新たな方法 検討	△	R3年度にモバイル定期券を導入しており、今後、6ヵ月定期の新設等の新たな方法についてR5以降に繰越		
6ヵ月定期の新設					—	検討	導入					
利用者ニーズの調査		経営企画班	2-2-6	WEBアンケート調査	実施	⇒	⇒	○	令和5年1月16日～2月3日に掛けて実施。回答者数は、令和3年度の5,048人からやや減少したものの、引き続き健康アプリ等と連携した周知等により、4,597人からの回答を得た。			
乗車マナー向上・車内での迷惑行為防止		管理班	2-2-7	ポスターによるマナーアップ啓発	実施	⇒	⇒	○	・マナーアップポスターについては、熊本デザイン専門学校と協働し作成、沿線高校、市役所1階ロビー、車内、電停に掲示。 ・女性優先車両は朝ラッシュ時に運行中。			
				女性優先車両の導入	試験導入 方針決定	実施	⇒					

基本方針	施策	戦略プログラム項目	LP	主担当	整理番号	取組年次計画				令和４年度末 の進行評価	成果や課題
						取組内容	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)		
	(3)	公共交通ネットワークの利便性向上									
		他公共交通機関との乗り換え利便性向上	○	営業推進班	2-3-1	他公共交通機関と連携した新たなサービスの導入(MaaS化の推進)	協議・検討	実証実験 効果検証	実施 実証実験 効果検証	○	R4年度よりmy routeアプリにてわくわく1dayパスの販売を開始したほか、JR及び商業施設と連携した「のれーるかえーるチケット」の販売を開始した。
		バス事業者との共同経営の推進	○	経営企画班	2-3-2	共同経営計画の策定	検討	計画策定	計画実施	○	引き続き部長会議、社長会議に出席したほか、適宜担当者レベルでの打ち合わせも行い、バス市電の連携策について協議。そのなかで、バス電車子ども無料(大人100円)の日を実施したほか、市主催での無料の日も実施。また、市電事故発生時の乗り換えサービスについて、具体化・実現に向けて進捗しており、令和5年度に運用開始予定。
						バスとの新サービスの実施	検討	方針決定 実証実験	実施		
	(4)	観光・文化施策や地域との連携									
		観光・文化政策との連携	○	営業推進班	2-4-1	観光担当部局と連携したPR	協議	実施	⇒	○	・電停での観光・文化情報発信を実施中。 ・企画電車については、アート市電(R3.3月実施)、走る市電ミュージアム(R3.7月から実施)、チャギントンラッピング電車運行(R3.12月から)等を実施。 ・令和4年度よりピアガー電を再開。
						観光・文化情報の発信	実施	⇒	⇒		
						企画電車・熊本の市電文化PR	検討	実施	⇒		
		開業100周年記念事業		経営企画班	2-4-2	記念セレモニーの実施	—	—	—	○	ピアガー電の再開や、クラウドファンディングによる復刻塗装など、100周年と絡めた企画を実施した。 また、定期的にTwitterに100周年カウントダウンを投稿し、市電の歴史や車両紹介を行い、機運醸成を図った。
						記念誌の発行	—	資料収集等 作成準備	⇒		
						その他の記念事業 (制服刷新他)	—	内容検討	準備		

基本方針	施策	戦略プログラム項目	LP	主担当	整理番号	取組年次計画				令和４年度末 の進行評価	成果や課題
						取組内容		2020(R2)	2021(R3)		
3 経営基盤の強化	(1) 安定的な人材確保と育成										
	乗務員の育成	○	総務経理班 管理班	3-1-1	各種検定の支援	－	検討	実施	○	・外部講師による接遇研修を実施。	
					救急救命講習	－	実施	－			
					接遇研修	実施	⇒	⇒			
	技術継承研修の実施	○	施設班	3-1-2	外部講師による研修 机上・現場研修の拡充	実施	⇒	⇒	○	・外部講師による研修及び現地での技術指導は予定通り実施。 ・長崎・鹿児島へ先進地視察を実施。	
					現地での技術指導	実施	⇒	⇒			
					先進地(他都市)視察	－	実施	⇒			
	職員表彰制度		総務経理班	3-1-3	規定、要綱の整備	検討	実施	⇒	○	・無事故表彰、優良乗務員表彰を実施した。無事故表彰は、今回から有責・無責に関わらず、事故を対象年数起こしていない運転士を対象とした。優良乗務員表彰は、今回から乗務員による投票も可能とした。	
					新たな表彰類型の導入、運用	検討	⇒	実施			
					既存の表彰類型の見直し	検討	⇒	実施			
	(2) 収益力の向上										
	広告収入の増収		営業推進班	3-2-1	営業活動の強化	実施	⇒	⇒	△	・営業活動の強化は未着手。 ※令和4年度は指定広告代理店への営業(メールによる申込案内)を実施。 ・令和3年度は広告枠の空き状況の見える化を図るべく、HPでの空き状況公開を実施。 ・新規媒体は、令和4年度からデジタルサイネージ広告を運用開始。	
					新規媒体の導入	検討	実施	⇒			
	不用品の売却		総務経理班	3-2-2	不用品買取業者へ売却	実施	⇒	⇒	○	・不用品売却(屑鉄)実施済、売却額:482,900円(税込)	
					官公庁オークション	実施	⇒	⇒			
	資金運用方法の見直し		総務経理班	3-2-3	余裕資金による運用	検討	実施	⇒	該当無		
	インターネットを活用した新たな財源の確保		総務経理班	3-2-4	クラウドファンディング等を活用した資金調達	検討	⇒	実施	○	・令和4年10月～12月に、クラウドファンディングを実施、寄付額:2,505,500円	
	(3) 更なる経営の効率化										
	施設の最適化及び計画的な更新	○	施設班	3-3-1	変電所の維持管理	－	－	更新	○	・変電所の長寿命化を目的とした、大江変電所の細密点検を実施。 ・施設の適正化については、市電延伸の検討状況を踏まえ検討を進めていく。	
					施設の適正化	課題整理 検討	⇒	⇒			
		信用乗車制度の導入		管理班	3-3-2	信用乗車導入	－	検討	制度設計	△	決済方法に係る今後の方向性等も踏まえた上で、次年度も検討を継続する。
	(4) 経営形態の抜本的見直し										
	経営形態の検討と雇用環境の見直し	○	経営企画班	3-4-1	経営形態の見直し	検討	経営分析 方針決定	実施	○	庁内関係局と庁内WGを立ち上げ、上下分離方式の制度設計を作成。令和7年4月の上下分離方式導入に向け、政策会議で二役も含め方針を合意するとともに、議会への説明も行った。	